バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023 大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙 流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：https://okashi.info e-mail：ks-news@okashi.info

令和7年 9月22日（月曜日）
（毎月12、22日発行）第2348号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618
TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人 狩野 智子 一カ年 8,800円

チョコレート統計

2024年統計 生産数量 前年比3・6％減

小売金額は4・5％増加

「チョコレート菓子」が伸長

全日本菓子協会（AN KA）の発表によると、国内チョコレートの統計に関し、2024年は生産数量23万1477トン（前年比3・6％減）、生産金額4307億円（同3・8％増）、小売金額6312億円（同4・5％増）となった。生産数量は直近5年間で最少となったが、生産金額、小売金額は伸長した。これは、原材料・資材の高騰による価格改訂が要因と

国内チョコレート生産数量及び金額推移

	生産数量トン	生産金額 億円	小売金額 億円
2020年	243,870	3,870	5,470
2021年	244,110	3,900	5,520
2022年	240,692	3,998	5,750
2023年	240,204	4,150	6,040
2024年	231,477	4,307	6,312

なった可能性が高い。

「チョコレート」「チョコレート菓子」に分類した25年1月～7月の1世帯当たり（総務省家計調査、2人以上世帯）の支出金額は、「チョコレート」が前年より3・0％減、「チョコレート菓子」8％を占める米国がトップ。輸出菓子全体で、チョコレート菓子は40・8％を占めている。輸出菓子全体の前年比は、数量が3・0％増、金額は8・6％増となった。

全国1世帯あたり支出金額

（2人以上世帯、円）

2025年	チョコレート	チョコレート菓子	小計
1月	843	252	1,095
2月	1,313	282	1,595
3月	694	289	983
4月	502	222	724
5月	488	200	688
6月	347	180	527
7月	296	156	452
合計	4,483	1,581	6,064
前年比	3.0%減	6.3%増	0.7%減

カカオ豆高騰によりチョコレート価格が上昇する中、「チョコレート」から「チョコレート菓子」にシフトしつつあることが窺える。

チョコ菓子輸出 数量・金額とも増加

25年1～7月のチョコレート菓子の輸出（農水省統計）に関し、数量は4639トン（前年比8・5％増）、金額は91億2500万円（同21・5％増）と大幅に増加した。輸出金額で全体の25・8％を占める米国がトップ。輸出菓子全体で、チョコレート菓子は40・8％を占めている。輸出菓子全体の前年比は、数量が3・0％増、金額は8・6％増となった。

一方、チョコレート菓子の輸入に関し、25年1～7月の数量は1万1013トン（同2・1％増）、金額は174億2600万円（2・8％増）と微増した。輸入金額のトップはイタリアで18・0％。輸入菓子のシェアトップはワッフル・パイ・ケーキで35・9％を占め、次いでチョコレート菓子で24・4％となった。輸入菓子全体の前年比は、数量が10・0％増、金額は5・0％増となった。

フルタ

「ふるたす」3号店 天王寺ミオに開店

上から、店舗、下右から、古田社長、古田課長、堂浦事業部長

フルタ製菓㈱（古田盛彦社長）は9月12日（金）、天王寺ミオ店6階にアンテナショップふるたすの3号店「ふるたす天王寺ミオ店」を開店した。

ふるたすは、2022年11月にららぽーと堺3階、24年4月に近鉄八尾駅前の商業施設リノアスに、フィギュアを前面に陳列した。下りエスカレーター前に出店しており、チョコエッグのフィギュアと写真撮影も楽しめる2・5mのハイエイトチョコレートのオブジェが目立つ。

前日は天王寺区にチラシ3万枚を配布し、初日から4日間は一日50万円の売り上げを目指す。

オープニングセレモニーで古田社長は「11月でふるたすが開店して3年になる。今回、縁をいただいてミオに出店することができたが、ふるたす事業は今後も成長拡大させていきたい。今回新しく働く方も会社の雰囲気に慣れてもらいながら取り組んでほしい」と挨拶。ふるたす事業部長（3店舗の店長）の堂浦可奈子氏は「これから秋・冬に向かってチョコレートが売れる時期なので、この日のオープンの門出が喜ばしい。ミオの出店にあたってスタッフ一同、身を尽くしてがんばっていきたい」と話した。古田剛士課長は「1995年9月に開業したミオは今年30周年で、このめでたい年にオープンできたことも貴重な縁なので、縁を大事にしながらふるたすも一緒に発展させていきたい」と話したあと、士気を高めるための掛け声を行い、テープカットへと進んだ。

（次ページへ続く）

2面 カルビーポテトチップス50周年
5面 菓子卸ランキング
8面 イオンで京ブランド食品